

平成 31 年 2 月 25 日

厚生労働省
医政局看護課長 様

一般社団法人全国保健師教育機関協議会
国家試験委員長

第 105 回 保健師国家試験の出題内容について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から、保健師教育にご配慮いただき、厚くお礼申し上げます。

また、全国保健師教育機関協議会の活動の特段のご理解ご協力を賜り、感謝しております。

さて、2 月 15 日に行われました第 105 回保健師国家試験について、当協議会会員校から寄せられた意見を集約し、別紙の通り検討しましたので、お届けいたします。

是非、ご検討いただけますよう、お願い申し上げます。

I 改善を要する問題

問題番号	理由	コメント
【午前】 問題 4	画像が不鮮明	画像の採用は良かった。 接種部位の確認に用いる画像は実物大相当が望ましい。
【午前】 問題 46	設問の改善が必要	この調査は断面調査であり、オッズ比を計算させることは適切ではない。
【午前】 問題 47	設問の改善が必要	保健師に必要な知識がなくても回答できる。
【午後】 問題 41 問題 42	設問の改善が必要	状況設定文の「精神障害者手帳」は、「精神障害者保健福祉手帳」が正しい。
【午後】 問題 44	設問の改善が必要	寄与危険を求める場合、「A に対する B の寄与危険を求めよ」といった表現が望ましい。

II 全体について

1. 画像や図表から状況を読み取る問題が増え、保健師国家試験として望ましい出題であった。
2. タキソノミーⅠは42問(38.2%)、Ⅰ'は27問(24.5%)、Ⅱは34問(30.9%)、Ⅲは7問(6.4%)であった。昨年よりタキソノミーⅢの出題の割合が増えていたこと、タキソノミーⅠおよびⅠ'の中にも丁寧に勉強したことにより答えられる問題が増えていたことは良い傾向であった。
3. 適度な魅惑肢が作られていた。よって、判別力を問う良い問題が多くみられた。